

# 庄原市行政評価シート

令和6年度評価

事務事業名 繁殖用和牛造成推進事業補助金

所管	企画振興		部	農業振興		課			
実施期間	平成	17	年度～	令和	6	年度（終期設定が無い場合は終期を空白）			
予算科目	会計	款	項	目	事業				
	01	06	01	04	3402				
	一般会計	農林水産業費	農業費	畜産振興費	和牛振興対策事業				
対象者	繁殖用和牛農家			対象者数など	約130戸				
根拠法令等	庄原市畜産振興補助金交付要綱								
HPアドレス									
実施目的	繁殖雌牛の増頭を支援することにより、和牛産地としての繁殖基盤の強化・拡大を図る。								
事務事業の概要	<p>補助対象経費 和牛を飼養する農業者等が基礎牛の造成を目的とする繁殖用雌牛の導入又は自家保留に要する経費</p> <p>補助金額            1 基本額 1頭当たり5万円            2 導入加算 1頭当たり2万円以内            3 増頭加算 1頭当たり5万円以内            4 法人加算 1頭当たり10万円以内。ただし、法人加算は、6頭以上を飼養している法人が増頭する場合のみを対象とし、通算補助対象頭数の上限を30頭とする。</p>								
年度別実績概要	令和3年度	更新 115頭、拡大 43頭 うち法人 4頭							
	令和4年度	更新 113頭、拡大 48頭 うち法人 2頭							
	令和5年度	更新 102頭、拡大 39頭 うち法人 15頭							

## 実績指標

(単位:千円)

事業費(インプット)	項目	内容	R3	R4	R5	計
	事業費	補助金 増頭補助	10,990	10,910	9,990	31,890
						0
						0
		計	10,990	10,910	9,990	31,890
	財源	国県支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	10,990	10,910	9,990	31,890

	指標名称	単位	基準値	R3	R4	R5	計
実績(アウトプット)	1 繁殖雌牛頭数	頭		1,367	1,332	1,300	3,999
	2						0
	3						0
成果(アウトカム)	1 繁殖雌牛増頭頭数	頭		43	48	39	130
	2						0
	3						0
備考							

# 庄原市行政評価シート

令和6年度評価

事務事業名 繁殖用和牛造成推進事業補助金

評価項目	所管課	市民意見	評価委員会	評価平均(上段)・分布(下3段)		
(評価は、A=1,B=0,C=△1とした平均値で、A,B+,B,B-,Cの5段階判定)			市民意見	評価委員会		
<b>優先度</b>	A	B	A	0.0		1.0
A 同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。	0			0	7	
B 同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。	2			2	0	
C 同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。	0			0	0	
<b>認知度</b>	B	C	B	△ 0.5		0.0
A 対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。	0			0	0	
B 対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。	1			1	7	
C 一部の者を除き、事業があることすら知られていない。	1			1	0	
<b>有効性</b>	A	B	B+	0.0		0.4
A 費用に対して、効果・成果が高い事業である。	0			0	4	
B 費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。	2			2	2	
C 費用に対して、効果・成果が低い事業である。	0			0	1	
<b>受益者満足度</b>	A	B	B+	0.0		0.4
※受益者：繁殖用和牛農家						
A 受益者(対象者)は、満足している事業内容である。	0			0	4	
B どちらともいえない。	1			1	2	
C 受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望があるほか)	0			0	1	
<b>市民(納税者)納得度</b>	A	B	B+	0.0		0.4
A 目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。	0			0	3	
B どちらともいえない。	1			1	4	
C 目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。	0			0	0	
<b>代替性</b>	A	A	A	0.5		0.9
A 収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。	1			1	6	
B 民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。	1			1	1	
C 市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。	0			0	0	
<b>まちづくり基本条例適合性</b>	A	A	A	0.5		0.9
A 市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。	1			1	6	
B 市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。	1			1	1	
C 条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。	0			0	0	

所管課評価	現行どおり
視点	飼料価格の高騰や子牛価格の下落により農家経営は圧迫され続けており、さらに農家の高齢化による後継者不足など、広島県の和牛産地である本市の繁殖用和牛農家の減少は深刻な問題となっている。農家の減少は繁殖雌牛頭数の減少に直結することから、農家経営の維持には計画的な更新と保留、経営基盤の強化には規模拡大による増頭が必要であり、飼養に要する農家負担の軽減を図るためにも本施策は重要であることから、現行どおりの事業実施に向け意見を伺う。
課題	農業振興計画では繁殖用和牛の頭数を1,800頭としており、目標頭数に達するのは難しい状況にある。 また、増頭に関しては牛舎や堆肥舎の増築が必要となるため、他事業での支援を併用しながら進めるが、経費や土地の問題等もあり、難しい課題もある。 飼料価格の高騰や子牛価格の下落は全国的な問題であることから、飼料価格や子牛価格の動向に注視しつつ、国や県へ支援の継続を求めていく必要がある。

# 庄原市行政評価シート

令和6年度評価

事務事業名 繁殖用和牛造成推進事業補助金

## 市民意見 (プラモニ)

※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。)

分布	現行どおり	拡充	縮小	終了		総回答数
	2	0	0	0		2
主な意見	【現行どおり】 比婆牛ブランドの継承に期待する。 農家の高齢化、後継者不足を懸念する。					

# 庄原市行政評価シート

令和6年度評価

事務事業名 繁殖用和牛造成推進事業補助金

行政評価  
委員会評価

現行どおり

※行政評価委員会の摘録(会議内容)はホームページに掲載しています。

総括  
意見

本市のブランドを牽引する比婆牛をはじめとした和牛の維持につながる本補助金の役割は大きく、今後も継続実施していく必要性がある。農家の高齢化、飼料価格の高騰と子牛価格の下落といった社会情勢の変化に応じつつ、農家数並びに繁殖雌牛頭数の維持に向け、本補助金も含め多面的な視点で農家への支援を検討いただきたい。



※委員会における最終的な評価として総括したもので、分布の多い評価を優先するものではありません。

分 布	現行どおり	拡充	縮小	終了	
	5	2	0	0	

各委員の意見

【現行どおり】

- ② 農畜産業が主な産業である庄原市において、とても重要な事業と考える。円安、物価高等を考え、適切な予算措置が必要と考える。
- ③ 本事業の目的が畜産振興であり、頭数増が目標であり、令和6年度末が節目であるようなので、補助額等の見直しと要件の変更が必要であると考えます。
- ⑤ 庄原ブランドとしても継続をお願いしたい事業ではあるが、仔牛価格の下落や現状の経費の高騰は特に厳しいように思います。飼養農家数、繁殖雌牛頭数から目標頭数の見直し、他の補助事業も含め一軒でも多くの関連農家が維持されること又ご尽力をお願いします。
- ⑥ 現状では飼料価格高騰や子牛価格の下落により経営が圧迫され続けていることがあり、目的である和牛产地としての繁殖強化・拡大を図るために補助金は必要と思う。しかし、後継者不足などにより繁殖農家数は急激に減少している現状もある。補助金で支援しつつ、法人経営への移行支援などの施策がなければ、農家数は年々減少し続け、計画の1800頭には到達しないように思う。
- ⑦ 庄原市が和牛产地として、今後もブランド化を推し進めていくためには、後継者不足の課題がある中、130戸の和牛農家には負担が大きすぎるのではないか。県や国の支援はもちろんであるが、庄原市内の和牛農家が減少しないよう現行どおりの、経費の補助だけでなく、多角的な視点での支援も必要ではないかと考えます。

【拡充】

- ① 本市の主要産業である和牛の繁殖経営については、飼育農家の高齢化や飼料の高騰に加え、子牛の販売価格の低迷など非常に厳しい環境下にある。こうした中で、高齢飼育農家の廃業が進み飼養戸数や飼育頭数は減少傾向にある。一方、若い飼育農家や法人の参入もある中で、本事業は農家にとって魅力的な事業である。今後も若手の農家や新規就農者等のためにも、より充実した内容が必要と思われる。
- ④ 庄原市が力を入れて比婆牛を復活させ、徐々に認知度は上がってきていますが、飼育されている方は365日休みなく牛の世話をされておられますし、飼育されている方も高齢化で大変です。若い方の手を借りるためにには興味を持って仕事してもらえるように、補助金を充実させ、日本中、世界中の人に庄原特産の比婆牛を食べて頂きたいです。それには販売ルートの開拓等が必要と思われます。

今後の事業  
実施の方向性

現行どおり

詳細

繁殖雌牛頭数の減少が懸念されるが、本事業を継続することで農家の飼養意欲の向上を図り、本市和牛生産の維持・拡大といった生産基盤の強化を図る。  
また、本市のブランド和牛「比婆牛」の出荷頭数増加に向け、比婆牛振興に関する支援策の活用促進を図り、比婆牛生産体制の強化・充実に向けた取り組みを継続する。

備考

(R7:11,000千円)  
(R6:11,000千円)